

授業科目(ナンバリング)	障がい者スポーツ(DB322)			担当教員	大島啓・大町いづみ・丸山貴志・ 中村尚生・久田貴幸		
展開方法	講義・演習	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
当「障がい者スポーツ」の単位を修得することにより、「障がい者スポーツ指導員(初級)」資格を取得することができる。当科目は、障がい者の適性に応じた運動競技種目及び身体運動の実施方法並びにリハビリテーションとの関連性等について学び、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、喜びや楽しさを重視したスポーツの指導を行うとともに、地域の障がい者スポーツの振興に貢献できる人物を育成することをねらいとしている。							⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	障がいに応じたスポーツの実施や、障がい者との交流を通じて、ホスピタリティの精神や相互理解を育み、障がい者スポーツの指導ができる。				・授業態度・授業への参加度 ・実技	10% 45%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	障がい者の適性に応じた運動競技種目や、身体運動の実施方法、リハビリテーションを学ぶことを通じて、障がいによる人間の多様性について理解することができる。				・小テスト	45%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業態度(評価比率10%)と小テスト(評価比率45%)及び実技(評価比率45%)の総評に基づいて評価する。授業態度では、障がい者スポーツとその意義や理念に共感し、関心を持っているかどうかを評価し、小テストでは、障がいによる人間の多様性を理解できているかを評価し、実技では、ホスピタリティの精神や相互理解のもとに、障がい者スポーツの指導ができているかどうかを評価対象とする。フィードバックは、小テストにコメントを付けて返却する形をとる。遅刻は厳禁。なおこの科目は、初級障がい者スポーツ指導員資格の指定科目であるので、資格を申請する上で授業全回の出席が必須である。公欠は資格申請上出席とはみなされない。またゲストスピーカーの回の授業の補講は実施されない。							
授業の概要							
講義11回、演習(実技)4回で構成されている。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、120分とする。							
教科書・参考書							
教科書:(公財)日本障がい者スポーツ協会編『障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)』ぎょうせい(2020) 参考書:特に指定しない。 指定図書:(公財)日本障がい者スポーツ協会編『障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)』ぎょうせい(2020)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業の後半に演習(実技)が4回あり、障がいを持つ講師(ゲストスピーカー・実務家)と直接スポーツ交流ができる貴重な機会も用意されているので、講師に対して敬意を払い、授業や実技に積極的に取り組んでほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	ボランティアの魅力・心得・留意点（大島） スポーツのインテグリティと障がい者スポーツ指導者の役割（渡邊勝平・ゲストスピーカー・実務家）	スポーツのインテグリティについて理解する
2	障がい者スポーツの意義と理念	障がい者個人における意義やスポーツ界、社会一般における意義（渡邊勝平・ゲストスピーカー・実務家）	障がい者にとってのスポーツの意味を理解する
3	障がい者スポーツの推進の取り組み	地域の障がい者スポーツ振興の現状（渡邊勝平・ゲストスピーカー・実務家）	各地域の障がい者スポーツ振興の現状について調べておく
4	全国障がい者スポーツ大会の概要	全国障がい者スポーツ大会の歴史、開催の意義、目的（新谷大輔・ゲストスピーカー・実務家）	全国障がい者スポーツ大会について、調べておく
5	障がい者スポーツに関する諸施策	わが国の障がい者福祉政策、障がい者スポーツに関する施策（中村）	わが国の障がい者福祉政策の変遷について調べておく
6	安全管理	スポーツを実施する際の安全管理（大町）	スポーツ指導者の安全配慮義務について、再度確認する
7	各障がいの理解 その1（身体障がい①）	身体障がい（肢体不自由、視覚障害）の特性や知識と指導上の配慮点（久田）	身体障がい者の種類と特徴を理解する
8	各障がいの理解 その2（身体障がい②）	身体障がい（聴覚障がい、内部障がい）の特性や知識と指導上の配慮点（久田）	身体障がい者のスポーツとその工夫の着眼点を理解する
9	各障がいの理解 その3（知的障がい）	知的障がい（発達障がいを含む）の特性や知識と指導上の配慮点（丸山）	知的障がい者の種類と特徴を理解する
10	各障がいの理解 その4（精神障がい）	精神障がいの特性や知識と指導上の配慮点（中村）	精神障がい者の種類と特徴およびスポーツの効用を理解する
11	コミュニケーションスキルの基礎	障がい者スポーツ指導員に必要なコミュニケーションスキルの基礎（久田）	よいコミュニケーションについて調べる
12	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 その1	障がいがある人がスポーツを楽しむためのルール・用具の工夫（長井庄吾・ゲストスピーカー・実務家）	障がいに応じたスポーツの工夫の着眼点を理解する
13	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 その2	障がいがある人がスポーツを楽しむための留意点・接し方（長井庄吾・ゲストスピーカー・実務家）	実技を通じて、障がい者スポーツの特徴を理解する
14	障がいのある人との交流 その1	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談（久保里司・ゲストスピーカー・実務家）	障がい者との交流を通じて、スポーツの効果を確認する
15	障がいのある人との交流 その2	スポーツ活動をしている障がい当事者とのふれあい（久保里司・ゲストスピーカー・実務家）	障がい者との交流を通じて、スポーツの効果を確認する